

令和元年度 第1回 東京・神奈川地区5国立大学法人
公共工事入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和元年12月13日（金） 15:00～16:15 東京海洋大学 本部管理棟1階 第1会議室	
委員	委員長 林 静雄（大学名誉教授） 委員 竹内 啓博（公認会計士）	
審議対象期間	平成30年7月1日～令和元年6月30日	
抽出案件（合計）	5件	（備考） 資料7 個別審議案件一覧表に基づき、各大学の担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。
建設工事（小計）	4件	
一般競争入札 （政府調達に関する協定対象工事）	0件	
一般競争入札 （上記工事を除く）	3件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務（小計）	1件	
簡易公募型プロポーザル方式（拡大）	0件	
一般競争入札	0件	
随意契約	1件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回 答
議事１．東京・神奈川地区５国立大学法人における発注状況等（H30. 7. 1～R元. 6. 30） ①東京・神奈川地区５国立大学法人において発注した建設工事について （事務担当より説明） ・ 特になし ②東京・神奈川地区５国立大学法人において発注した設計・コンサルティング業務について （事務担当より説明） ・ 特になし ③報告遅延について （事務担当より説明） ・ 特になし ④指名停止等の措置状況について （事務担当より説明） ・ 特になし 議事２．個別審査 ①審議対象工事及び設計・コンサルティング業務の抽出結果について （事務担当より説明） ・ 特になし	・ 特になし ・ 特になし ・ 特になし ・ 特になし ・ 特になし ・ 特になし

意見・質問	回 答
②建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議について 1) 一般競争入札方式（最低価格落札方式） 【東京医科歯科大学 3号館等照明設備改修工事】 ・照明器具の工事は低入札の傾向にあるが、予定価格算出の際、今までの実績は反映しにくいものなのか。 ・予定価格はどのように算定したのか。 ・入札参加者の入札価格が相当低いので、今後は予定価格を見直したほうが良いのではないのか。 2) 一般競争入札方式（総合評価落札方式（実績評価型）） 【東京海洋大学 （品川） 1号館改修機械設備工事】 ・1者入札になった原因は何か。 ・発注時期の早期化とか施工実績の緩和ということを今後の改善策に掲げているが、発注時期が遅かったということか。 ・発注要件が難しかったということはあるのか。（施工面積の）2, 300㎡とかがそういうことではないのか。 ・本工事建物の用途からすると、大学や公共工事の施工実績でなければならないのか。研究施設だから民間施設の実績では難しいのか。 3) 随意契約 【お茶の水女子大学 附属中学校囲障改修工事】 ・土留めがあるから土木工事になるのか。 ・他の事例ではフェンスのみの場合、建築工事で発注している。 ・4月26日の侵入事件後、緊急に随意契約をしているが、受注業者以外にも打診したのか。 ・すべての業者から見積書を徴取したのか。 ・予定価格は事前に作成していたのか。	・本工事のような照明器具の取替のみの実績が本学では近年なかったため、実績を反映できなかったが、今後は今回の落札率を勘案した査定率を採用するなど適切な予定価格の設定に努めたい。 ・一般的な配線工事を含む照明器具の資材の査定率を照明器具の見積に掛けて査定し、予定価格を算定した。 ・予定価格を見直す必要があると考えている。 ・競争参加資格を有する者2者のうち1者が入札を辞退し、1者入札となった。辞退の理由は、配置予定技術者が他工事を担当することになったためと聞いている。 ・大型案件のため学内調整に時間を要し、12月末の発注となった。年度末にかけての工事になるため、業者は技術者の確保が難しかったのではないかと。あと1か月くらい発注が早ければ技術者が確保でき、競争参加の応募があったと思われ、今後はもう少し発注を早くできればと考えている。 ・面積の緩和は考えられたと思うが、1億円を超える工事であり、（一定以上の面積の施工が）未経験でも困るため、適正な水準と考えている。 ・理工系の校舎であり、実験設備関係の取り扱いとかもあるため、商業施設とかでは難しく、また、文科系の建物とは違うものと考えている。 ・フェンス工事は一般的に土木工事としている。主要な建築工事がある場合はそれに付随して建築業者に発注することもあるが、今回は建築工事がなく、フェンスや板柵土留めといった外構工事の部分が主な工事のため、土木工事業者に発注している。 ・そういう事例もあるかもしれないが、本工事はフェンスの長さがかなりあるため、土木工事業者を選定した。 ・本学での工事実績がある受注業者を含む5者に打診し、ヒアリングを行った。 ・見積書の作成には手間を要するためヒアリングの結果、施工が可能という、本受注業者のみから見積書を徴取した。 ・作成していた。もともと本工事を含め他の工事範囲とあわせて発注しようと設計を進めていたところ、侵入事件が発生したため切り分けし、フェンス関係とかセキュリティ強化のための部分だけに特化して図面、積算内訳を作り直した。

意見・質問	回 答
4) 一般競争入札方式（総合評価落札方式（実績評価型）） 【横浜国立大学 （常盤台）教育学部講義棟 8 号館／都市科学部講義棟 1 0 4 室等改修工事】 ・（1 者が電子入札システムの不具合により入札できなかったことについて）電子入札システムとはオンラインで入札を受け付けるものなのか。 ・何時までに入札しなければならなかったのか。 ・そういう時は何か救済措置はないのか。 ・オンライン入札しか認めていないのか。紙入札もできたはず。 ・1 0 時くらいに入札を試みてうまくいかないから紙入札書を持参して1 2 時に間に合えばよかったのか。 ・もう1 者が入札を辞退した理由は、配置予定技術者が別の工事に従事することになったためということか。 5) 随意契約 【東京医科歯科大学 機能強化棟新営実施設計業務】 ・基本設計業務のプロポーザル時に当該業務の受注者と実施設計業務の随意契約をする予定である旨を予告していたということで相違ないか。 ・予定価格はどのように決定しているのか。 ・見積 3 回目でようやく予定価格を下回ったが、1 回目の金額とずいぶん開きがある。 ・見積合せは、随意契約の価格協議のプロセスという理解でよいか。	・文部科学省が管理している入札システムで、業者が登録申請して使用できるようになっている。 ・開札前日の1 2 時が入札締め切りになっていたが、おそらく業者は午前中から作業していて、業者側の不具合だと思うが、入札しようとしたができなかったと連絡があった。 ・業者側のシステム不具合では、1 2 時に締め切りとなってしまうため、対応が難しい。 ・紙入札も認めていたが、業者から連絡がきたのが1 2 時を過ぎていた。紙入札の場合も事前に連絡を受けて本学の中でOKということであれば受け付ける。 ・そのとおり。 ・そのとおり。 ・相違ない。 ・国土交通省が定めた官庁施設の設計業務等積算要領に基づいて予定価格を作成している。 ・1 者のため、様子を探りながら見積してくる。なお、国土交通省で発注している実施設計業務の8 ～9 割は基本設計業務の受注者と随意契約しており、これが一般的で最も合理的な契約方式と考えている。 ・そのとおり。

意見・質問	回 答
議事３．その他 ①再苦情処理会議への申立状況 （事務担当より説明） ・ 特になし	・ 特になし
委員講評 今回も対応がきちんとなされていたと思う。今後もさらに競争性、公正・公明性を高めるような入札業務を行っていただきたい。	